

【ボーイスカウト部門】

テーマ : No.1 Patrol 2026

今年8月、第19回日本スカウトジャンボリーが広島県神石高原で開催される。

富山県からスカウト・スタッフ約65名余が参加します

大会に参加するスカウト・スタッフにエールを送ろう

【目的】

- ・日本スカウトジャンボリー開催年のプレ活動として実施。
- ・県内のスカウトが一同に集まり、交流の場とする。
- ・各自のスキルアップを図り、発揮する場とする。
- ・各自のスキルを結集し、班対抗の競い合う場とする

【日程】

13日(土)

9:30 ~	13:00 ~ 16:30		19:30~20:30	22:00
各隊設営開始 (野営場・グラウンド)	No.1 Patrol 2026 プログラム挑戦 (中庭)	野営生活 夕食	營火 スカウト大集会 (正面コミュニティ 広場)	消灯

14日(日)

6:00~		8:30~11:00	11:00~	11:30~
各隊撤営 朝食配給(事前申込) (野営場・グラウンド)	移動	BSハイキング 座標読み・ポイントハイキング チェックポイント4か所 手旗・簡易測量・読図 (バックベアリング)	移動	式典参加

【内容・参加方法】

- ・13日・14日の2日間にわたり、野営を伴うプログラムを行います。ただし、都合により、日帰り参加も可能です。(13日(土)のみまたは14日(日)のみの参加も可)
- ・会場入りは、13日(土)9時30分から設営を開始できます。場所は事前に各隊にサイトを指定いたします。
- ・野営生活は、各隊で行ってください。ただし、朝食は実費注文(パン食、軽食)も行いますので、必要に応じて利用ください。(事前申し込み)
- ・撤営は、14日正午まで、完了してください。

「No. 1 Patrol」(13日 13:00~16:30 実施)

- ・ 競技・出題形式型プログラムです。
- ・ 採点方式で参加班の順位付けを行います。
- ・ 参加班は、4名以上が望ましいです。(混成班可)

挑戦プログラム

BS-1 レイジング・フラッグ (班旗立て競争)

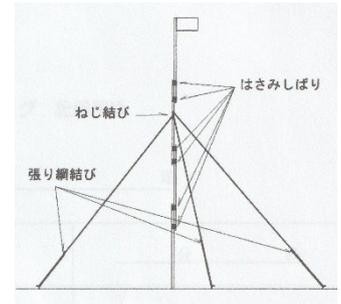
手元にある材料を使って、少しでも目立つように班旗をたてよう。

(ルール)

白竹3本と班旗杖を縦に繋ぎ、ペグを打って張り綱をはるることにより、班旗を自立させるまでの時間を競うゲーム。

(事前訓練)

ロープワーク (はさみしばり、ねじ結び、張り綱結び)、ペグの打ち方



BS-2 レスキュールーフ (フライテント張り)

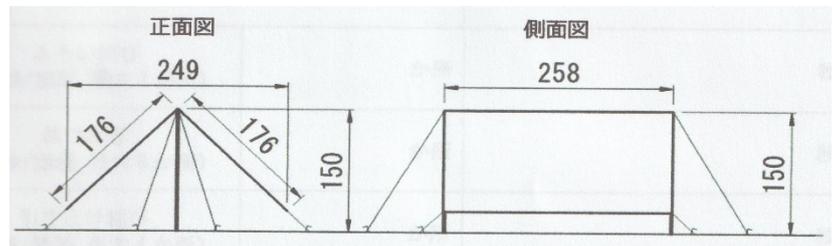
雨が降ってきた。用意された材料で自分たちの屋根を作ろう。

(ルール)

スタートの合図で準備された材料をすべて使用して指定された結索法を使い、図に示す屋根を作成する。ブルーシートはたるまないように張ること。

(事前準備)

ロープワーク (よろい結び、張り綱結び、馬つなぎ)、フライシートの設営



BS-3 ライティングファイヤー (火起こしゲーム)

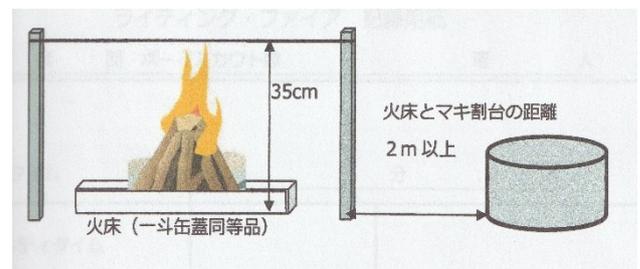
マッチを使って、早くお湯が沸かせるように火を起こそう。

(ルール)

火起こし競争キットを使い、火床面から35cmに焼き切り用の麻紐をセットし、ナイフ、鉋を使い薪を加工しマッチ2本以内で火を起こし、麻紐を焼き切るタイムゲーム。薪は自分たちで選ぶことができる。

(事前準備)

ナイフ、鉋の扱い方。マッチで火を付ける。薪の組み方。



BS-4 ストレッチャーレース（急造担架）

急造担架を作って、倒れている人を安全な場所に急いで運ぼう。

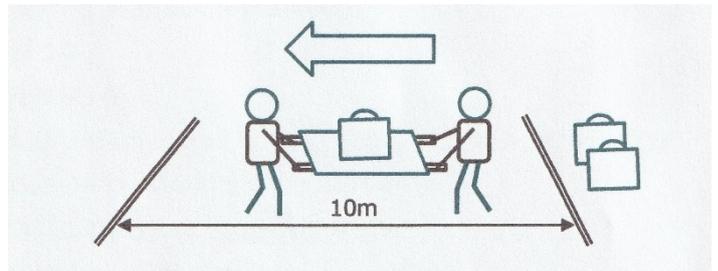
（ルール）

毛布と2本の竹棒を使って急造担架を作り、ポリタンクを丁寧に1個ずつ10

m離れたゴールラインまで運ぶ。1回ずつ急造担架を作り直し、3個運ぶタイムゲーム。

（事前準備）

急造担架の作成方法、傷病者の運搬方法。



※ これらの挑戦プログラムは、日本連盟「日本一チャレンジ」プログラムのルールで実施するので、日本連盟のホームページを参照し、理解しておいてください。

営火「スカウト大集会」（13日 19:30～20:30）

【会 場】

呉羽青少年自然の家 正面玄関コミュニティ広場（雨天時は野営場 野外炊飯棟）

【内 容】

導入 第19回日本スカウトジャンボリープレビュー映像上映

（1）点火セレモニー

（2）「No.1 Patrol」部門表彰

（3）19NSJ派遣スカウト・スタッフ激励

（4）元気に歌おう「スカウトソング」「ジェスチャーソング」

（5）夜話

読図・追跡ハイキング（14日 8:30～11:00）

【会 場】 太閤山ランド内（雨天 決行）

【受付場所】 野外劇場横 ボーイスカウト受付テント 8:00から受付開始します。

【参加方法】

- ・各隊または班で参加する。（1班4～5名程度が望ましい）
- ・ハイキングは、競技ではなく技能履修を目的とした内容といたします。習得科目は各隊で履修承認をお願いします。
- ・コースは、約2km。チェックポイントは3か所です。想定文によって各班の最初の目的ポイントが異なります。
- ・すべてのチェックポイントを終了後、受付場所に戻り、ゴールの報告をしてください。
- ・ハイキング中に10時50分になったら、ハイキングを中止し受付に戻ってください。

【事前準備】

- ・手旗信号の原画および形象、通信方法 ・読図（座標読み、方位角）
- ・シルバーコンパスの使用法（クロスベアリング、バックベアリング）
- ・簡易測量機器（正切簡易測量器、仰角簡易測量器）の使用法
- ・追跡信号 ・歩測

【必需品】

手旗、シルバーコンパス、筆記用具、紙はさみ（バインダー）、時計

呉羽青少年自然の家 周辺見取り図

周辺見取り図

●施設周辺



●野営場

